

ミツバチが農作業の省力化に一役 とよたの梨 受粉作業始まる



豊田市南部の福受（ふくじゅ）地区で、ミツバチによる梨の受粉作業が始まります。ほとんどの品種の梨は、異なった品種でないと受粉しない性質を持っているため、自然交配が起こりません。そこで、同地区で梨を栽培するJAあいち豊田梨部会（部会長：梅村 長史）では、ミツバチを使って受粉作業を行い、作業を省力化しています。

ミツバチは市内の養蜂家から借り受け、同地区の畑（面積：約5.9畝／梨の木の本数：約1,600本余り）の約8割程度をミツバチによって受粉させ、農家の作業量軽減に役立っています。受粉作業は花の状態を確認しながら10日～2週間ほどの期間で行います。同地区ではミツバチを活用した受粉を50年以上前から続けており、今年は寒い日が続いたため、昨年より7日遅い作業開始となる予定です。

同部会では、7月20日ごろから「愛甘水」「あけみず」の収穫が始まり、8月上旬から「幸水」、11月はジャンボ梨「愛宕」など計8品種を「とよたの梨」として順次出荷する予定です。



△白い花が咲く梨園をミツバチが飛びかう風景が撮影できます

令和6年 JAあいち豊田梨部会 概況

栽培面積：23畝（猿投・福受地区）
栽培農家（部会員）：40戸
出荷量（令和5年選果場出荷量）：370ト

取 材 日

取材日時：2024年4月11日（木） 午前10時

【雨天予備日 4月12日（金） 予定】

集合場所：福受梨組合集荷場（豊田市福受町中ノ切26番地）

※取材いただく畑は別の場所です。JA職員がご案内いたします。

※取材にお越しいただける場合には、下記までご連絡をお願いします。

お問い合わせ先：

JAあいち豊田 営農生活部 猿投営農センター 選果場 担当：中野
〒470-0373 豊田市四郷町森前南26番地4 電話（0565）46-2217

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

